



金属拡底式 **アンカーシステム ANZEX(アンゼックス)** **ANZEX-K**



動画公開中

施工手順書 M8 オネジタイプ

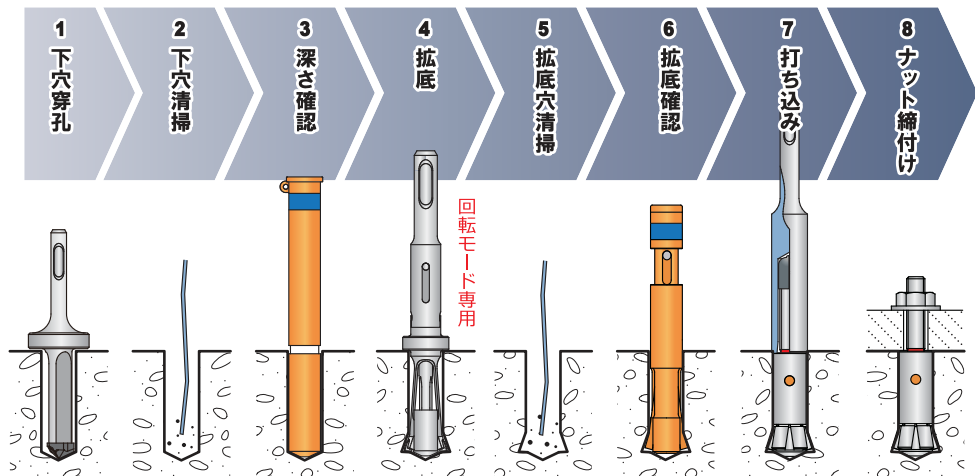
このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの施工手順書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

施工工具品番一覧

品番	M6	M8	M10	M12
下穴用ビット	—	KPH136047SDS	KPH166058SDS	KPH196069SDS
拡底用カッター	—	KUC136DSDS	KUC166SDS	KUC196SDS
打込棒 (機械式 / オネジ)	—	KSTSDSM8	KSTSDSM10	KSTSDSM12
打込棒 (手打式 / オネジ)	—	KSTM8	KSTM10	KSTM12
深さ確認ゲージ	—	KVG136	KVG166	KVG196
拡底確認ゲージ	—	KGE136	KGE166	KGE196
拡底用カッターブレード	—	KBL136D	KBL166	KBL196
拡底用カッターボウジョー	—	KBJ136	KBJ166	KBJ196

施工手順

● 施工の流れ



品質証明書が必要な場合、弊社受注センターまでお問い合わせください。その際、商品箱にある6桁のロットNoをご連絡ください。



ユーザーと共に進む

株式会社 **ミヤナガ**

受注センター

受付窓口 ☎ 0120-81-3875

商品お問い合わせ窓口 ☎ 0120-3875-14

F A X ☎ 0120-3875-17

4955397

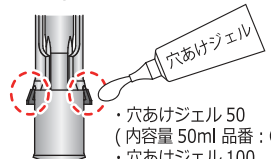
〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

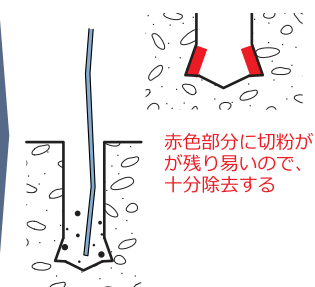
URL <http://www.miyanaga.co.jp>

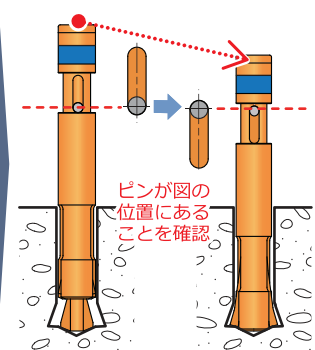
● 施工手順

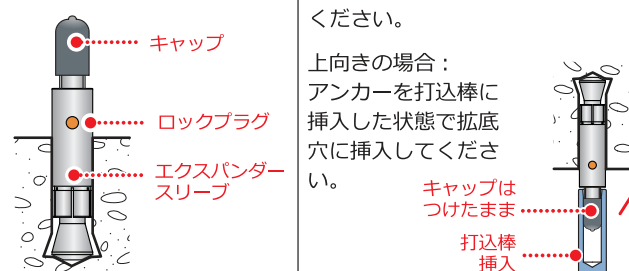
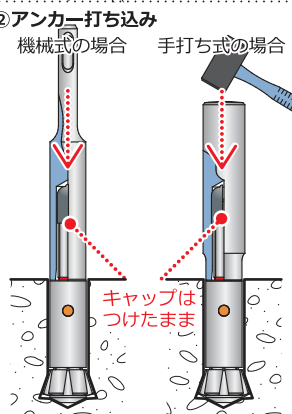
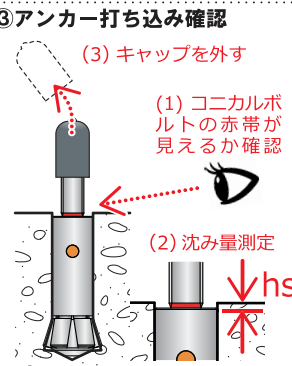
作業名	作業内容	確認および注意事項
①準備	(1) 施工工具を準備してください。 (2) 下穴用ビットの径を測定し、規定値内の寸法か確認してください。 (3) 穿孔位置のマーキングをしてください。	ねじサイズ 下穴用ビット径 (mm) M8 φ13.6 ~ 13.8
1 ②下穴穿孔	下穴用ビットを使用し、ストッパー部分が躯体表面に当たるまで穿孔してください。	使用電動工具：SDS- プラス
2 下穴清掃	穴底と側面に付着した切粉を、集塵機やブロアーなどで、十分に除去してください。	穴底に切粉が残っていないか確認してください。
3 深さ確認	深さ確認ゲージを下穴に挿入してください。 図のように、フラットな形状のもの(定規等)を躯体表面に当て深さ確認ゲージの白帯幅内に収まっているか確認してください。	ねじサイズ 穿孔深さ (mm) M8 43.3 ~ 48.3
4 ④下穴拡底の準備	ダイヤモンドブレードとボウジョーの周りをブラシなどで掃除してください。 拡底用カッターのダイヤモンドブレードの開閉(2、3回底を突く)後、最大に開いたときの寸法(D ₁)を確認してください。確認した寸法が、右表の規定値ではない場合、新しいダイヤモンドブレードと交換してください。交換後再度D ₁ 寸法を確認し、規定値ではない場合は、ボウジョーも交換してください。	ねじサイズ D ₁ 寸法 (mm) M8 φ17.6 ~ 19.6

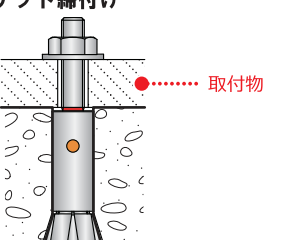
ダイヤモンドブレードとボウジョーは交換用部品を販売しています。

作業名	作業内容	確認および注意事項
② 拡底	<p>(1) 電動工具の作業モードを回転モードに切り替えてください。</p> <p>(2) 拡底用ブレードのダイヤモンドブレードの刃先に、穴あけジェル(別売)を十分に塗布してください。</p>  <p>・穴あけジェル 50 (内容量 50ml 品番: GEL50) ・穴あけジェル 100 (内容量 100ml 品番: GEL100)</p> <p>(3) 拡底用カッターを下穴の穴底まで挿入してから拡底を始め、ピンが左図の位置に来れば、拡底完了になります。</p>	<p>スタックを避けるため、切り込み始めはスラストをかけ過ぎないでください。電動工具は回転モード以外使用禁止です。</p> <p>使用電動工具: SDS- プラス 適正回転数 : 1500 ~ 1300min⁻¹ 消費電力 : 500W以下</p> <p>パワーの大きい電動工具を使用するとダイヤモンドブレードの耐久性が低下する場合があります。</p>
③ 拡底用カッターの取り出し	<p>ダイヤモンドブレードが開いている状態でも、拡底用カッターを引き上げるとダイヤモンドブレードが閉じ、拡底穴から拡底用カッターを取り出すことができます。</p>	

作業名	作業内容	確認および注意事項
5 拡底穴清掃	<p>穴底と側面に付着した、切粉を集塵機やブロアーなどで、十分に除去してください。</p>  <p>赤色部分に切粉が残り易いので、十分除去する</p>	<p>孔内に切粉や異物がないか確認してください。</p>

作業名	作業内容	確認および注意事項
6 拡底確認	<p>拡底確認ゲージを拡底穴に挿入し、端面を押さえ、ピンが左図の位置に来ること確認してください。</p>  <p>ピンが図の位置にあることを確認</p>	<p>孔内でゲージを回転させないでください。</p>

作業名	作業内容	確認および注意事項				
① アンカー挿入	<p>拡底穴にアンカーを底まで挿入してください。</p> <p>上向きの場合: アンカーを打込棒に挿入した状態で拡底穴に挿入してください。</p>  <p>キャップ ロックブラグ エクspander スリーブ 打込棒挿入</p>	<p>エクspander スリーブに組み付けられているロックブラグは外さず、そのまま挿入してください。</p>				
② アンカー打ち込み	<p>エクspander スリーブの端面に、打込棒で打撃を加え、拡張部を開かせ、赤帯が見えるまで打ち込んでください。</p> <p>機械式の場合 手打ち式の場合</p>  <p>キャップはつけたまま</p>	<p>機械式の場合 使用電動工具: SDS- プラス 消費電力 : 850W程度</p> <p>ねじ部に装着しているキャップは外さず(ねじ部保護のため)、そのまま打ち込んでください。</p>				
③ アンカー打ち込み確認	<p>(1) エクspander スリーブの端面から、コニカルボルトの赤帯が見えるか、確認してください。</p> <p>(2) スリーブ表面が躯体表面より規定値以上沈んでいるか確認してください。</p> <p>(3) アンカーのキャップを外して、打ち込み完了です。</p>  <p>(3) キャップを外す (1) コニカルボルトの赤帯が見えるか確認 (2) 沈み量測定</p> <p>hs</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ねじサイズ</th> <th>スリーブ沈み量 h_s (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M8</td> <td>2 以上</td> </tr> </tbody> </table>	ねじサイズ	スリーブ沈み量 h_s (mm)	M8	2 以上
ねじサイズ	スリーブ沈み量 h_s (mm)					
M8	2 以上					

作業名	作業内容	確認および注意事項											
8 ナット締付け	<p>トルクレンチを使用して、ナットを締付けてください。</p>  <p>取付物</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ねじサイズ</th> <th colspan="3">参考締付けトルク (Nm)</th> </tr> <tr> <th>46E</th> <th>46H</th> <th>A4N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M8</td> <td>14</td> <td>23</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	ねじサイズ	参考締付けトルク (Nm)			46E	46H	A4N	M8	14	23	7
ねじサイズ	参考締付けトルク (Nm)												
	46E	46H	A4N										
M8	14	23	7										